

平成 25 年 9 月 13 日

関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会
平成 25 年度 野菜研究会 開催要領

部会長 野菜茶業研究所 野菜生産技術研究領域長 高市益行

1 趣 旨

TPPをはじめとする経済の国際化が進展するなかで、国内農業は担い手の減少、耕作放棄地の増加、自給率の低下など多くの課題を抱えている。今後、市場競争力のある国産農産物の供給体制の確立が重要であり、‘京野菜’、‘加賀野菜’、‘江戸東京野菜’など、地域伝統野菜の見直しによる地域野菜生産の活性化や、地場産業、食文化と結びついた野菜生産、地域特産作目、品種による野菜振興など、注目を集める多くの事例が存在する。

本研究会では、各地域の特色ある野菜生産の現状と問題点と把握し、技術的課題を検討することにより今後の野菜生産に資する。なお、二日目午後には2つの分科会（希望者のみ）を開催して、当該分野の研究情勢について情報交換を行う。

2 開催日時 平成 25 年 10 月 10 日（木）13:00～10 月 11 日（金）12:00（分科会は 14:30 まで）

3 開催場所 新潟県内野菜産地（受付場所：新潟駅南口 チサンホテル 4F フロント前）
チサンホテル&コンファレンスセンター新潟（受付、研究会、情報交換会会場）
新潟市中央区笹口 1-1（新潟駅南口すぐ隣）TEL 025-240-2111

4 検討事項

テーマ「地方色豊かな地域特産野菜の振興」

1) 現地検討会（10 月 10 日 13:00～17:00）

- (1) 地域特産食用ぎく生産：新潟市南区 JA新潟みらい
- (2) 法人経営におけるいちご生産：新潟市西蒲区
- (3) 砂丘畑地域における野菜生産（ねぎ、だいこん、さつまいも）：新潟市西区 JA新潟みらい

2) 研究会（10 月 11 日 9:00～12:00）

- (1) 話題提供
 1. 新潟県における野菜生産の現状と課題
新潟県農林水産部 農産園芸課 演者未定
 2. 中越地域伝統野菜‘長岡野菜’の普及に向けた取り組み（仮題）
(株)長岡中央青果 会長 鈴木圭介 氏
 3. 新潟県漬物業界の現状と我が社の取り組み（仮題）
(株)増子 生産部副部長 兼 中条工場長 増子雄一 氏
- (2) 関連研究成果の発表
- (3) 総合討議
- (4) その他（今後の日程、事務連絡等）

3) 分科会（希望者のみ、10 月 11 日 13:00～14:30）

- (1) 【分科会 1】「排水不良転換畑への露地野菜導入について（仮題）」（座長予定：岡田邦彦）
 - ・（話題提供）FOEAS 設置水田における露地野菜作の活用技術
 - ・各都県における FOEAS など基盤整備による対策の進展状況の情報交換
 - ・排水不良転換畑への露地野菜導入についての自由討議
- (2) 【分科会 2】「施設野菜生産の情報利用の高度化について（仮題）」（座長予定：中野明正）
 - ・（話題提供）ユビキタス環境制御システム（UECS）と情報利用の発展方向
 - ・各都県における情報利用高度化の取り組みと課題についての情報交換
 - ・栽培実験における生育調査等の基本項目と基本様式についての自由討議

5 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政普及・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、
関東農政局、北陸農政局、大学、民間企業、農研機構・中央農業総合研究センター、同・野菜茶業
研究所、その他部会長が認める者

6 担当・連絡先

野菜茶業研究所 企画管理部業務推進室 企画チーム長 山田朋宏

〒514-2392 三重県津市安濃町草生 360

TEL 050-3533-3805 FAX 059-268-3213 E-mail yamatomo@affrc.go.jp

新潟県農業総合研究所園芸研究センター 育種栽培科 野菜研究チーム 葛西正則

〒957-0111 新潟県北蒲原郡聖籠町真野 177

TEL: 0254-27-5555 FAX:0254-27-2659 E-mail kasai.masanori@pref.niigata.lg.jp

(以 上)